

B-28

出展団体名	農業・食品産業技術総合研究機構	
発表者所属	九州沖縄農業研究センター	
発表者氏名	田中章浩	
発表タイトル	堆肥脱臭による悪臭防止と窒素回収	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	①堆肥	②脱臭
	③低コスト	④
要 旨（アピールポイント）		
<p>牛糞の堆肥化では堆肥化材料1 tから約1 kgのアンモニアが揮散する等、堆肥化過程における臭気は極めて高濃度で苦情の原因となることが多い。しかしながら、既存の多くの脱臭装置は設備費や運転経費が高額であるため、農家等での脱臭装置導入の隘路になっている。そこで、堆肥の悪臭成分吸着能を活用し、アンモニアを硝酸態窒素などの形で回収し脱窒させないで100%近くを肥料成分として再利用するアンモニア回収型低コスト悪臭防止技術を開発した。開発技術は、既存脱臭装置に比較して設備費やランニングコストが安価であり、減価償却費やランニングコストを含めた1 kgのアンモニア回収にかかる費用は319円であり、希硫酸洗浄600円、生物脱臭500円の1/2～2/3である。また、脱臭に用いた堆肥は窒素濃度が高まり、土壌改良効果と化学肥料の即効性、両者の特徴を持つ良質肥料となる。</p>		